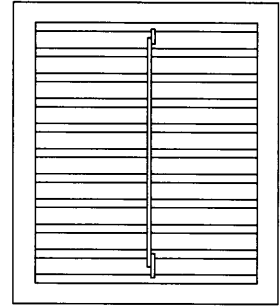


ガラリの取扱い

ガラリには羽根が固定された固定ガラリと羽根が動く可動ガラリがあり、可動ガラリには、火災発生時の熱により羽根が閉じる温度ヒューズ式や、手で羽根を開閉する手動式などがあります。
ガラリは換気を目的としておりますので、風雨の強い時は雨水が吹込むことがあります。



可動ガラリの開閉

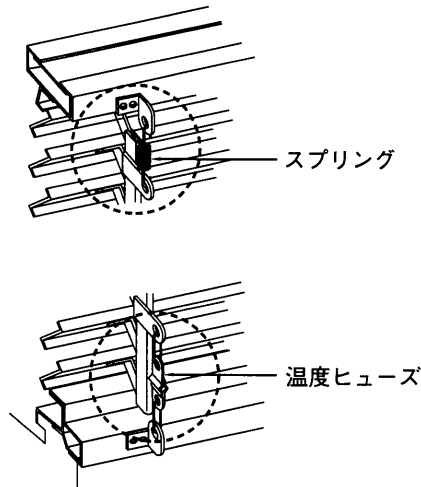
■温度ヒューズ式

通常は、羽根が開いて換気状態になっています。ガラリ中央に羽根と接続した連動桿があり、上部にスプリング、下部に温度ヒューズが取り付けられています。火災時に熱で温度ヒューズが溶けると、スプリングの力で羽根が閉まります。

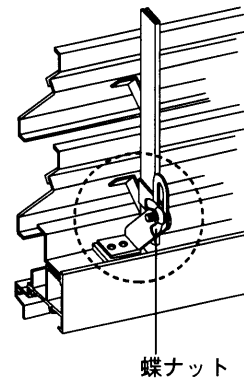
■手動式(蝶ナット式)

ガラリ中央に羽根と接続した連動桿があり、上部にスプリング、下部に蝶ナットの付いた金具が取り付けられています。下部の蝶ナットをゆるめると、スプリングの力で羽根が閉まります。

■温度ヒューズ式



■手動式



お 願 い

- ① 羽根の開閉は、スプリングの力が加わっておりますので、手や指を挟まないようにしてください。

固定ガラリ

羽根が固定されており、羽根の開閉はできません。